

～平成27年度全国体力運動能力調査から～

今年度全国の全ての小学校5年生（中学校は2年生）を対象に行われた全国体力運動能力調査の結果や分析された傾向については、既に報道等でもご存知の通りですが、本校の結果や傾向に概要についてお知らせします。

（1～3年生は 50メートル走、上体起こしの2種、4、6年生については5年生と同様全種目に取り組んでいます）

<体力テスト調査内容>

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20メートルシャトルラン、50メートル走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ	体力点合計
男子	○	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎
女子	○	△	△	△	○	△	◎	△	△

◎全国・全道を超えた種目 ○全道もしくは全国を超えた種目 △全国・全道を下回る項目

	身長	体重	高度やせ	やせ	普通（正常）	軽度肥満	中度肥満	高度肥満
男子	△	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
女子	○	○	◎	◎	○	△	△	◎

◎全国・全道を超えた項目 ○全道もしくは全国を超えた項目 △全国・全道を下回る項目

<調査結果全般>

- 男女とも種目によりばらつきがみられますが、総じて男子の結果が全国全道平均を上回っています。
- 男女とも立ち幅跳びが全国全道を上回ります。
- 昨年度課題であった20mシャトルランが今年度は向上しています。
- 男女とも反復横跳び、ソフトボール投げに課題がみられます。
- 男子はやせ・肥満の傾向は見られず、女子は軽・中程度の肥満の傾向がみられます。
- 生活習慣として、「家の人と運動する頻度」、「家の人とスポーツの話をする頻度」が高く、家庭でスポーツに接することが多い傾向がみられます。

<今後に向けて>

- 男女差は見られますが、全般には敏捷性や投力に課題が見られることから、児童が日常的に取り組める運動プログラムづくりを進めるとともに、『おびひろっ子絆を育む学校づくり支援事業』で整備された「ランランコース」や「わくわくルーム」を活用するなど、自ら進んで体を動かし、様々な運動ができる環境づくりを学校全体で取り組むことを継続します。
- 一人一人の子ども達が「体育が楽しい」「運動が楽しい」と一層感じることができるよう、体育の授業で「達成感」や「練習すればできるという自信」を体感できる指導の工夫に努めるとともに、今後も外部講師を活用した授業づくりを進め、運動への関心の高まりや日常的な運動に慣れ親しむことができる環境づくりに努めます。
- 休み時間に体を動かす場面を増やすために、教育課程（日常的教育活動）と連動した児童のニーズに応じた運動（ドッチボール大会、なわとびカード…）に取り組むことが出来る環境をつくり、児童を運動に誘う（いざなう）環境を作ります。
- 体力運動能力調査の結果配布など、体力向上に向けた取組や現状や課題などについて、家庭と学校が共有できるよう、積極的な情報提供に努めます。
- 体力・運動能力の向上は、生活習慣や食生活との関連等、また学力の定着や向上に関連が深いことから、これまでと同様に引き続き数値目標を立てながら、各種の取組を進めるとともに、児童の実態の詳細な把握に努めます。